

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第309号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月18日 04時00分ごろ	
発生場所	阪神港堺泉北区	
事故等調査の経過	平成21年10月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三十八住^{すみわか}若丸、497トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 135134、坂崎海運株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底が凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組んで銅スラグ約1,550トンを積載し、船首約3.7m、船尾約5.2mの喫水で阪神港堺泉北区に到着し、荷役岸壁へ着岸作業中、突風により浅所に圧流され、平成21年9月18日04時00分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風速 約4.0～5.0m/s、視界 良好 海象：うねり なし、潮汐 上げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、阪神港堺泉北区において着岸作業中、突風を受けたときの操船を適切に行わなかったため、浅所に圧流されたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が阪神港堺泉北区で着岸作業中、突風を受けたときの操船を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	